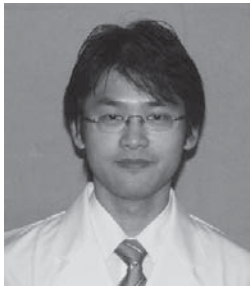


腫瘍内科



診療科長
外来化学療法
センター長
安井 久晃

専門医資格等 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医／指導医、評議員
「原発不明がん診療ガイドライン」作成委員
「がん薬物療法における曝露対策合同ガイドライン」作成委員
がん治療認定医機構／がん治療認定医、暫定教育医
日本内科学会 認定内科医
独立行政法人医薬品医療機器総合機構 専門委員

専門分野 腫瘍内科学(臨床腫瘍学)
緩和医療

得意疾患 固形腫瘍(消化器がん)
原発不明がん

□ スタッフ

平成26年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	岡崎 俊介	日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 日本内科学会 認定内科医	腫瘍内科学(臨床腫瘍学) 緩和医療	消化器がん
レジデント	津田 萌	検診マンモグラフィ読影認定医	腫瘍内科学(臨床腫瘍学)	乳がん

□ 診療科の特徴

施設認定等 日本臨床腫瘍学会認定研修施設

1. 患者さんが納得し満足いただける医療を提供します
2. 患者さんとご家族を徹底的に支援します
3. エビデンスに基づいた最善の化学療法を行ないます
4. 化学療法と並行して、緩和医療を提供します
5. 患者さんと一緒に歩み、成長する姿勢を大切にします
6. 地域の医療機関との連携を大切にします

□ 主な対象疾患

- ・消化器がん(食道がん、胃がん、大腸がん、消化管間質腫瘍など)
- ・膵臓がん、胆道がん
- ・原発不明がん
- ・その他の固形腫瘍

□ 診療(業務)内容

- ・化学療法(がん薬物療法)の実施
- ・緩和医療の実施
- ・緩和ケアチーム参加
- ・他職種カンファレンスの実施
- ・他科からのコンサルテーション
- ・セカンドオピニオン
- ・外来化学療法センターの運営
- ・化学療法委員会の運営
- ・中心静脈ポート造設
- ・臨床試験・治療への参加

□ 診療実績(平成26年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
16.4名	399名	14.8日

外来患者数

1日平均患者数
24.1名

□ 地域医療連携・広報活動

京都臨床漢方医学講座「大腸がん化学療法と副作用マネジメント」2014年4月19日:京都(安井久晃)

第3回京都医療センター医療連携フォーラム「外来化学療法センターにおけるチーム医療」2014年7月12日:京都(安井久晃)

NPO法人キャンサーリボンズ「がん治療と暮らしサポーター」研修 -第1期集中講座-「患者の立場に立って理解するー痛みを例にー」2014年9月6日:大阪(安井久晃)

がん哲学外来メディカルカフェ「がんと向き合う～がん治療と生きる覚悟～」2015年2月22日:京都(安井久晃)

CVポートトレーニングセミナー「①VADにおけるCVポートの位置づけ CVポートの管理、②CVポートの留置手技～腋下静脈穿刺～」2014年5月17日、6月28日、7月26日、10月4日:東京(安井久晃)

CVポートトレーニングセミナー「①VADにおけるCVポートの位置づけ CVポートの管理、②CVポートの留置手技～内頸静脈穿刺～」2014年11月30日、2015年3月14日:東京(安井久晃)

いのちを見つめる日の取組(綾部市立綾部小学校)「「がん」って?」2014年10月17日:京都(安井久晃)

保健体育授業(宇治市立槇島中学校)「「がん」って?」2014年12月8日:京都(安井久晃)

生命のがん教育(京都教育大学付属桃山小学校)「「がん」って?」2015年2月25日:京都(安井久晃)

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	演者・演題・学会名
国内学会	垣田真以子、難波多挙、安井久晃、植田洋平、中谷理恵子、中尾佳奈子、立木美香、臼井健、田上哲也、成瀬光栄、島津章、多発肝転移を伴う肺原発神経内分泌腫瘍による異所性ACTH産生腫瘍に対するエペロリムスの治療効果。第87回日本内分沁学会学術総会。2014年4月26日:福岡
国内学会	安井久晃。がん薬物療法におけるパワーポートの有用性ーパワーポートを用いた治療・管理・造影CTの実際ー(ランチョンセミナー)。第12回日本臨床腫瘍学会学術集会。2014年7月19日:福岡
国内学会	安井久晃、岡崎俊介、佐治雅史、田中雅子。進行・再発膀胱癌に対するGEM+nab-パクリタキセル併用療法の使用経験。第12回日本臨床腫瘍学会学術集会。2014年7月19日:福岡
国内学会	岩佐悟、濱口哲弥、後藤昌弘、岡崎俊介、笹木有佑、長井祐志、浅見千佳、長島健悟、島田安博。高齢者切除不能の進行・再発胃癌を対象としたS-1/CDDP療法の高施設共同第II相試験。第52回日本癌治療学会学術集会。2014年8月28日:横浜
国内学会	安井久晃。チームで取り組むがん薬物療法における曝露対策～根拠に基づくガイドラインの活用～医師の立場から(日本がん看護学会ガイドライン委員会がん薬物療法曝露対策講演会・シンポジウム)。第29回日本がん看護学会学術集会。2015年3月1日:横浜
国内学会	安井久晃。がん患者が腹部症状を訴えて来院したら～オンコロジーにおけるエマージェンシー～(ランチョンセミナー)。第51回腹部救急医学会総会。2015年3月6日:京都

□ 投稿論文など

著書・雑誌名	タイトル	著者
悪液質とサルコペニア リハビリテーション栄養アプローチ、荒金英樹・若林秀隆編著、p92-100、医歯薬出版株式会社、2014年2月	第2章 主な疾患の悪液質に対するリハビリテーション栄養 1.がん ③化学療法(がん薬物療法)	安井久晃
産婦人科の進歩 Vol.66, No.2, p231、近畿産科婦人科学会、2014年5月	当院における卵巣癌に対するペバシズマブ(BeV)投与の実際	秦さおり、関山健太郎、下園寛子、中木絢子、清水操、山西優紀夫、奥田亜紀子、伊藤美幸、高尾由美、江川晴人、山本紳一、北岡有喜、徳重誠、安井久晃、高倉賢二
Journal of integrative oncology Vol. 3, No.2, p120、2014年7月	Multicenter Phase II Study of FOLFOX6 for Previously Untreated Unresectable Metastatic Colorectal Cancer.	Satoru Iwasa, Yasuhiro Shimada, Yoshitaka Inaba, Kiyomi Mera, Hisateru Yasui, Yutaka Ogata, Kenichi Sugihara, Tatsuhiko Arai, Kenji Katsumata, Satoshi Ikeda, Makoto Akaike, Takeshi Kato, Tetsuya Hamaguchi and Tomoyuki Kato.

著書・雑誌名	タイトル	著者
ガイドラインには載っていない消化管がん Practical Treatment、山田康秀ら編、p167-169、メジカルビュー社、2014年8月	IV 胃がん治療のpractice ⑦胃がんによる腸閉塞に対する内科的治療の考え方	安井 久晃
消化器外科ナーシング Vol. 19, No.9、p864-866、メディカ出版、2014年9月	【特集】観察・対応・説明ポイントを早しらべ!消化器がん化学療法のレジメンと副作用「すぐわかる」帳 臓器がん編 2 胃	安井 久晃、田中 雅子
消化器外科ナーシング Vol. 19, No.9、p881-883、メディカ出版、2014年9月	副作用編 7 悪心・嘔吐	安井 久晃、田中 雅子
消化器外科ナーシング Vol. 19, No.9、p888-889、メディカ出版、2014年9月	副作用編 10 口内炎(口腔粘膜炎)	安井 久晃、田中 雅子
消化器外科ナーシング Vol. 19, No.9、p890-891、メディカ出版、2014年9月	副作用編 11 味覚障害	安井 久晃、田中 雅子
消化器外科ナーシング Vol. 19, No.9、p900-901、メディカ出版、2014年9月	副作用編 14 脱毛	安井 久晃、田中 雅子
日本臨牀 増刊号、p209-214、日本臨牀社、2015年2月	V.系統別抗がん剤の副作用 2.分子標的薬 2) 抗HER2抗体薬	安井 久晃
BMC Cancer Vol. 15、p176、2015年3月	Multicenter phase II study of FOLFIRI plus bevacizumab after discontinuation of oxaliplatin-based regimen for advanced or recurrent colorectal cancer (CR0802)	Mitsukuni Suenaga, Tomohiro Nishina, Nobuyuki Mizunuma, Hisateru Yasui, Takashi Ura, Tadamichi Denda, Junichi Ikeda, Taito Esaki, Hogara Nishisaki, Yoshinao Takano, Yasuyuki Sugiyama and Kei Muro.